

事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

I 法人の概要

1. 設立年月日

昭和62年5月29日

2. 寄附行為に定める目的

本財団は、産業・経済の発展に貢献することが期待される科学技術に関する研究及び交流並びに教育の普及・啓発に対する助成を行うことにより、科学技術の向上・発展を図り、人類の平和と繁栄に貢献することを目的とする。

3. 寄附行為に定める事業内容

- 科学技術の振興に貢献する優れた研究に対する助成
- 科学技術の普及、振興に貢献する国際研究交流に対する助成
- 科学技術の試験研究の交流の促進に対する助成
- 科学教育の普及・啓発活動に対する助成
- 科学技術の振興に関する注目すべき研究業績に対する褒賞
- その他、本財団の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

内閣府

5. 主たる事務所の状況

主たる事務所：神奈川県川崎市中原区中丸子150番地 東京応化工業(株)本社内

6. 役員等に関する事項

(1) 理事・監事

役職	氏名	常勤・非常勤 の別	担当職務・現職等
理事長	藤嶋 昭	非常勤	東京理科大学 学長
理事	阿久津郁夫	非常勤	東京応化工業(株) 代表取締役取締役社長
理事	井上 晴夫	非常勤	首都大学東京戦略研究センター 教授
理事	逢坂 哲彌	非常勤	早稲田大学理工学術院 教授
理事	沖村 憲樹	非常勤	(独)科学技術振興機構 顧問

公益財団法人東京応化科学技術振興財団

理事	開発 宏一	非常勤	東京応化工業(株) 代表取締役執行役員副社長
理事	塚本 桓世	非常勤	東京理科大学 会長
理事	中村 洋一	非常勤	東京応化工業(株) 相談役
理事	本間 英夫	非常勤	関東学院大学材料・表面工学研究所 所長・名誉教授
監事	小池 眞	非常勤	小池産業(株) 相談役
監事	高木秀次郎	非常勤	(株)ニトー・フレンド 取締役

(2) 評議員

氏名	現職
石谷 炯	(財)神奈川科学技術アカデミー 名誉顧問
岩科 季治	(公財)日本科学技術振興財団 理事
児玉柳太郎	(一財)新技術振興渡辺記念会 理事
小原 秀克	東京応化工業(株) 取締役執行役員
駒野 博司	東京応化工業(株) 取締役執行役員
中崎 龍雄	東邦化学工業(株) 代表取締役取締役社長
西出 宏之	早稲田大学理工学術院 教授
橋本 和仁	東京大学大学院工学系研究科 教授
平尾 公彦	(独)理化学研究所計算科学研究機構 機構長
平岡 陽一	川崎市 上下水道事業管理者

死亡による退任：杉山元康

7. 職員に関する事項

職員数		前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数	勤務
男子	1名	0名	59歳1ヶ月	1年	常勤

8. 許認可に関する事項

なし

II 事業の状況

1. 事業の実施状況

(1) 公益目的事業

平成24年度に係る助成及び表彰事業は、平成24年度事業計画書に基づき計画通り実施された。なお、当期においては、平成25年度の表彰事業及び助成事業の募集と選考を行った。

公益財団法人東京応化科学技術振興財団

(2) その他の事業

①MOA美術館川崎市児童作品展

東京応化科学技術振興財団賞として書写の部及び絵画の部の計2点を表彰（平成24年10月28日）

②神奈川県青少年科学作文コンクール

東京応化科学技術振興財団賞として2作品を表彰（平成25年3月3日）

③「科学教育の普及・啓発助成」成果をまとめた書籍刊行の費用助成について

「科学教育の普及・啓発助成」の成果をまとめた書籍刊行の費用助成については、事業計画に基づき4団体へ書籍刊行ノウハウの提供を行い、3団体については活動成果をそれぞれまとめた書籍の刊行費用助成を行った。なお、1団体についてはほぼ完成の域にあるものの発刊が次年度にずれ込んでいることから、平成25年度予算にて費用助成を行うこととなった。

2. 重要な契約に関する事項

該当なし

3. 理事会等に関する事項（理事会、評議員会、選考委員会、運営会議）

① 理事会

開催年月日	議事事項
平成24年6月5日	第4回理事会 決議事項： (1) 平成23年度事業報告書案及び財務諸表に関する件 (2) 第2号議案 株主総会議決権行使に関する件 (3) 第3回(定時)評議員会開催に関する件 (4) 第4回評議員会開催に関する件 報告事項： (1) 図書出版に関する調査結果 (2) 事務局長の異動人事について

公益財団法人東京応化科学技術振興財団

<p>平成 24 年 12 月 4 日</p>	<p>第 5 回理事会 決議事項： (1) 会計処理の変更に関する件 (2) 第 27 回「研究費の助成」、第 35 回「国際交流助成」、第 27 回「研究交流促進助成」及び第 8 回「科学教育の普及・啓発助成」各候補者推薦募集に関する件 (3) 第 24 回向井賞受賞候補者推薦募集に関する件 (4) 第 5 回評議員会開催に関する件 報告事項： (1) 公益事業について ① 平成 24 年度に実施した助成事業と表彰事業実施の概要 ② 平成 24 年度 MOA 美術館川崎市児童作品展について ③ ヤングサイエンス選書の刊行状況について ④ 協賛金等の支出について (2) 業務について ① 前回報告以降開催された理事会及び評議員会の開催状況並びに承認事項について</p>
<p>平成 25 年 3 月 8 日</p>	<p>第 6 回理事会 決議事項： (1) 平成 25 年度事業計画書案及び収支予算書案に関する件 (2) 第 27 回「研究費の助成」の承認に関する件 (3) 第 26 回研究費の助成対象者の承認に関する件 (4) 第 35 回「国際交流助成」の承認に関する件 (5) 第 27 回「研究交流促進助成」の承認に関する件 (6) 第 8 回「科学教育の普及・啓発助成」の承認に関する件 (7) 第 24 回「向井賞」候補者の承認に関する件 (8) 第 6 回評議員会開催に関する件 報告事項： (1) 公益事業について ① ヤングサイエンス選書の刊行費用助成の進捗報告 ② 第 4 6 回神奈川県青少年科学作文コンクールについて</p>

公益財団法人東京応化科学技術振興財団

② 評議員会

開催年月日	議事事項
平成 24 年 6 月 20 日	<p>第 3 回評議員会</p> <p>決議事項： (1) 平成 23 年度事業報告書案及び財務諸表案に関する件</p> <p>報告事項： (1) 第 4 回理事会の内容について ・ 第 4 回評議員会開催に関する件 他 (2) 図書出版に関する調査結果 (3) 事務局長の異動人事について</p>
平成 24 年 12 月 4 日	<p>第 4 回評議員会</p> <p>決議事項： (1) 会計処理の変更に関する件</p> <p>報告事項： (1) 第 5 回理事会承認事項について ① 第 27 回研究費の助成、第 35 回国際交流助成、第 27 回研究交流促進助成、第 8 回科学教育の普及・啓発助成候補者の募集に関する件 ② 第 24 回向井賞候補者の募集に関する件 ③ 第 5 回評議員会開催に関する件 ④ 公益事業について ・ 平成 24 年度助成事業と表彰事業実施の概要 ・ 平成 24 年度 MOA 美術館川崎市児童作品展での表彰について ・ ヤングサイエンス選書の刊行状況について ・ 協賛金等の支出について ⑤ 業務について</p>
平成 25 年 3 月 8 日	<p>第 5 回評議員会</p> <p>決議事項： (1) 平成 25 年度事業計画書案及び収支予算書案に関する件</p> <p>報告事項： (1) 第 6 回理事会承認事項について ① 第 27 回「研究費の助成」の承認に関する件 ② 第 35 回「国際交流助成」の承認に関する件 ③ 第 27 回「研究交流促進助成」の承認に関する件</p>

公益財団法人東京応化科学技術振興財団

	<ul style="list-style-type: none"> ④ 第8回「科学教育の普及・啓発助成」の承認に関する件 ⑤ 第24回「向井賞」候補者の承認に関する件 ⑥ 第6回評議員会開催に関する件 <p>(2) 公益事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ヤングサイエンス選書の刊行費用助成の進捗報告 ② 第46回神奈川県青少年科学作文コンクールについて
--	--

③ 選考委員会

開催年月日	議事事項
平成25年2月25日	<p>第36回選考委員会</p> <p>報告事項:</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 推薦募集経過に関する件 <p>決議事項:</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 第27回「研究費の助成」対象者選定の件 (2) 第35回「国際交流助成」対象者選定の件 (3) 第27回「研究交流促進助成」対象者選定の件 (4) 第8回「科学教育の普及・啓発助成」対象者選定の件 (5) 第24回向井賞受賞者選定の件

4. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移 (単位：千円)

事業年度	25年3月期
前期繰越収支差額	7,539
当期収入合計	53,806
当期支出合計	53,692
当期収支差額	114
次期繰越収支差額	7,653
資産合計	2,455,451
負債合計	849
正味財産	2,454,602

III 法人の課題

事業活動としては、近年青少年の理科離れが進んでいることから、「科学教育の普及・啓発助成」を重点課題として位置づけ、研究助成等とのバランスを考慮しつつ活動を行って

公益財団法人東京応化科学技術振興財団

いく。具体的には、助成成果が特に優れた活動に対してその活動成果を広く他の方々に知らせ、情報を活用して頂くことを目的に、その活動成果を書籍として刊行するノウハウの提供と書籍刊行費用の助成を引き続き行い、広くその活動を紹介していく。

IV 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実
該当なし

以 上